

第3回 五島市ごみ処理施設整備基本計画検討委員会 会議録 要旨

I 日 時 平成28年1月28日(木) 10:00~12:00

II 場 所 五島市役所 3階 中会議室

III 次 第

- 1 開会
- 2 前回議事録確認 **【資料1】**
- 3 メーカーアンケート結果の確認 **【資料2】**
- 4 審議
 - 1) 事業方式の検討 **【資料3】**
- 5 その他

IV 出席者(以下、出席者名簿)

(敬称略)

	氏 名	所属・役職
委員長	中村 國夫	生活環境課長
副委員長	朝倉 宏	長崎大学准教授水産・環境科学総合研究科
委員	東條 一行	総務課長
	針崎 善英	建設課長

V 欠席者

委員 出口 秀幸(財政課長)

VI 事務局出席者

五島市生活環境課 太田課長補佐、臼井係長、吉原係長
株式会社エイト日本技術開発 森、江藤

VII 議事録(要旨)

1. 前回議事録の確認
 - ・前回会議録を確認した。
2. メーカーアンケート結果の確認
 - ・メーカーアンケートの調査概要及び調査手順・結果について確認した。

- ・調査依頼 13 社、回答を得たのは 7 社であることを確認した。
- ・4 社から DBO 方式の提案があり、事業費を削減できるとの回答を得ていることを確認した。
- ・一方で、3 社は公設公営を希望しており、どちらを選んでも競争性は保たれることを確認した。
- ・アンケートはメーカー側の意見であり、最終的には市側で精査することが必要であるとの意見が出された。

3. 事業方式の検討

- ・メーカーアンケート結果を基に比較する事業方式である、公設公営方式及び公設民営方式（DBO 方式）の比較評価結果を確認した。
- ・今回のアンケートは、ごみ量ごみ質とも毎年一定であることを条件に徴収しているが、ごみ量が減少していく市の現状に併せ検討する必要があるとの意見が出された。
- ・公設民営方式（DBO 方式）においては、必ずしも SPC の設立は必要なく、設立費を削減することが可能であることを確認した。
- ・市の 2 施設でも運営方式が異なっている。メーカーアンケートのみでは判断ができない。五島市に適した運営であるかを判断する資料を提示する必要があるとの意見が出された。
- ・公設公営の人件費を確認・設定し、VFM を再計算し、比較検討資料に反映して報告することとした。
- ・次回の委員会までに、第 3 回委員会資料を見直したもので各委員に説明を行い、次回委員会で結論を付けるよう決定した。

4. その他

- ・第 4 回委員会は 2 月 23 日 (火) 9 時 30 分から開催とする。